

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

号機	1号機		2号機		3号機		4号機	
	5月27日	6月24日	5月27日	6月24日	5月27日	6月24日	5月27日	6月24日
原子炉注水状況	給水系：2.3m ³ /h CS系：2.0m ³ /h (5/27 11:00 現在)	給水系：2.2m ³ /h CS系：2.0m ³ /h (6/24 11:00 現在)	給水系：1.9m ³ /h CS系：2.5m ³ /h (5/27 11:00 現在)	給水系：2.0m ³ /h CS系：2.4m ³ /h (6/24 11:00 現在)	給水系：2.0m ³ /h CS系：2.3m ³ /h (5/27 11:00 現在)	給水系：2.0m ³ /h CS系：2.3m ³ /h (6/24 11:00 現在)		
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：21.7℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：21.5℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：21.5℃ (5/27 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：24.0℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：23.9℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：23.8℃ (6/24 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：28.4℃ RPV温度 (TE-2-3-69R)：28.9℃ (5/27 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：30.4℃ RPV温度 (TE-2-3-69R)：29.9℃ (6/24 11:00 現在)	RPV下部ヘッド温度 (TE-2-3-69L1)：25.1℃ スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：25.1℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：23.8℃ (5/27 11:00 現在)	RPV下部ヘッド温度 (TE-2-3-69L1)：27.6℃ スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：27.6℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：26.4℃ (6/24 11:00 現在)		
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：21.8℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：21.5℃ (5/27 11:00 現在)	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：24.0℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：23.7℃ (6/24 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：30.0℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：28.4℃ (5/27 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：31.6℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2- 16B (TE-16-114G#1)：30.3℃ (6/24 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：24.5℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：23.1℃ (5/27 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：27.1℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：25.9℃ (6/24 11:00 現在)	-	-
原子炉格納容器 圧力	0.4kPa g (5/27 11:00 現在)	1.0kPa g (6/24 11:00 現在)	3.59kPa g (5/27 11:00 現在)	5.18kPa g (6/24 11:00 現在)	0.25kPa g (5/27 11:00 現在)	0.25kPa g (6/24 11:00 現在)		
窒素封入流量 ※1	RPV：28.19Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (5/27 11:00 現在)	RPV：27.46Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (6/24 11:00 現在)	RPV：15.66Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (5/27 11:00 現在)	RPV：15.39Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (6/24 11:00 現在)	RPV：16.69Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (5/27 11:00 現在)	RPV：16.36Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (6/24 11:00 現在)		
原子炉格納容器 水素濃度 ※3	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (5/27 11:00 現在)	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (6/24 11:00 現在)	A系：0.02vol% B系：0.03vol% (5/27 11:00 現在)	A系：0.04vol% B系：0.05vol% (6/24 11:00 現在)	A系：0.03vol% B系：0.04vol% (5/27 11:00 現在)	A系：0.03vol% B系：0.05vol% (6/24 11:00 現在)		
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135)	A系：8.60E-04Bq/cm ³ B系：1.07E-03Bq/cm ³ (5/27 11:00 現在)	A系：7.10E-04Bq/cm ³ B系：1.35E-03Bq/cm ³ (6/24 11:00 現在)	A系：ND(2.1E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(2.0E-01Bq/cm ³ 以下) (5/27 11:00 現在)	A系：ND(2.5E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(2.0E-01Bq/cm ³ 以下) (6/24 11:00 現在)	A系：ND(3.0E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(3.0E-01Bq/cm ³ 以下) (5/27 11:00 現在)	A系：ND(2.9E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(3.2E-01Bq/cm ³ 以下) (6/24 11:00 現在)		
使用済燃料 プール水温度	22.5℃ (5/27 11:00 現在)	25.5℃ (6/24 11:00 現在)	24.2℃ (5/27 11:00 現在)	25.1℃ (6/24 11:00 現在)	20.3℃ (5/27 11:00 現在)	22.8℃ ※4 (6/21 11:00 現在)	18.9℃ (5/27 11:00 現在)	21.4℃ (6/24 11:00 現在)
FPC 及びサージタンク 水位	2.81m (5/27 11:00 現在)	3.32m (6/24 11:00 現在)	5.46m (5/27 11:00 現在)	3.71m (6/24 11:00 現在)	3.68m (5/27 11:00 現在)	4.65m ※4 (6/21 11:00 現在)	25.20×100mm (5/27 11:00 現在)	31.38×100mm (6/24 11:00 現在)

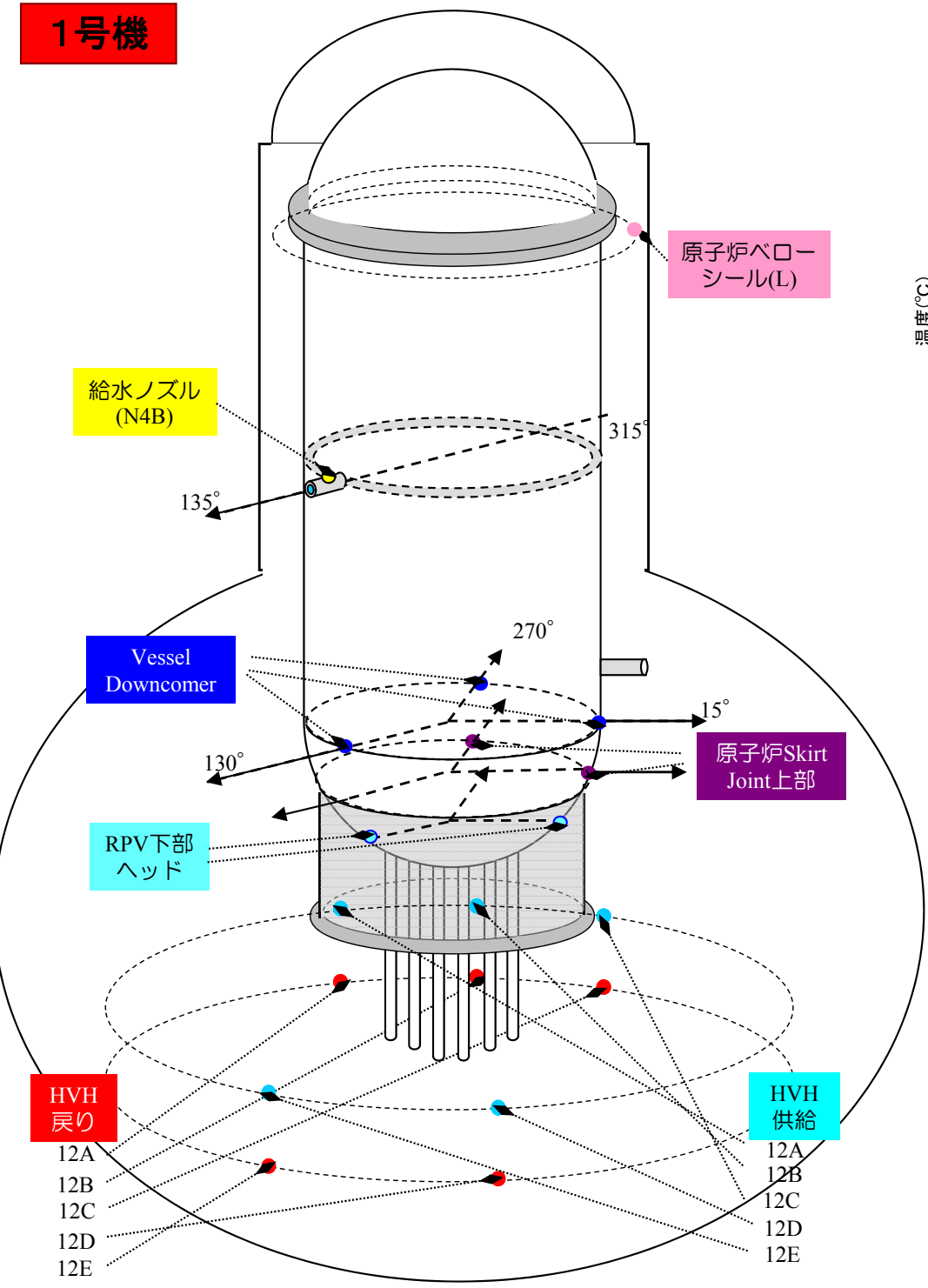
※1：使用状態の温度・圧力で流量補正した値を記載する。
 ※2：窒素封入停止中
 ※3：指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナス表示される場合があるため)
 ※4：3号機使用済燃料プール代替冷却システム停止中の為、3号機使用済燃料プール水温度とFPCスキマサージタンク水位に関しては至近のデータを記載。なお、使用済燃料プールの温度上昇率は0.103℃/h程度と評価。

※注水冷却を継続することにより、1～3号機の原子炉圧力容器底部温度、格納容器気相部温度は、号機や温度計の位置によって異なるものの、至近1ヶ月において、約20℃～約45℃で推移。

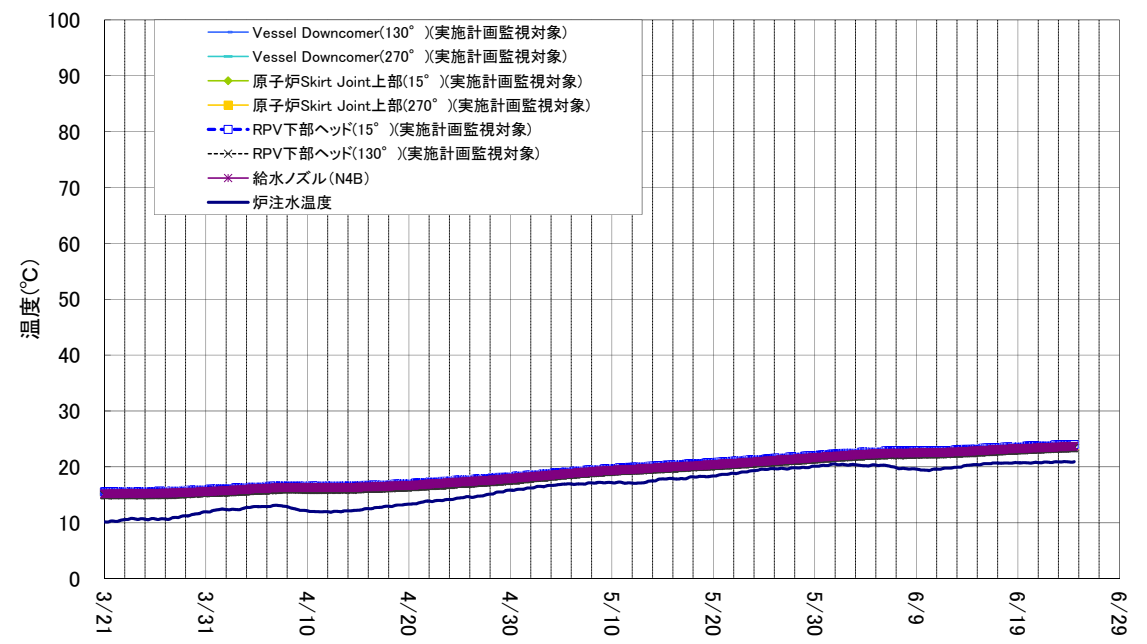
格納容器内圧力や格納容器からの放射性物質の放出量等のパラメータについては有意な変動はなく、冷却状態の異常や臨界等の兆候は確認されていない。

以上より、総合的に冷温停止状態を維持しており、原子炉が安定状態にあることを確認。

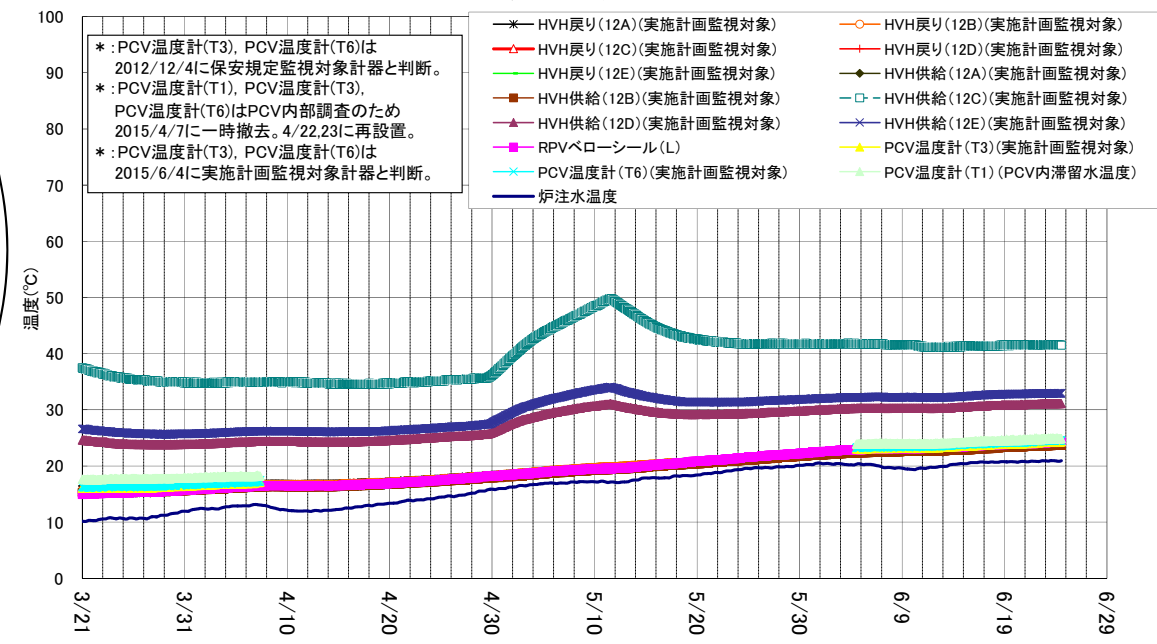
1号機



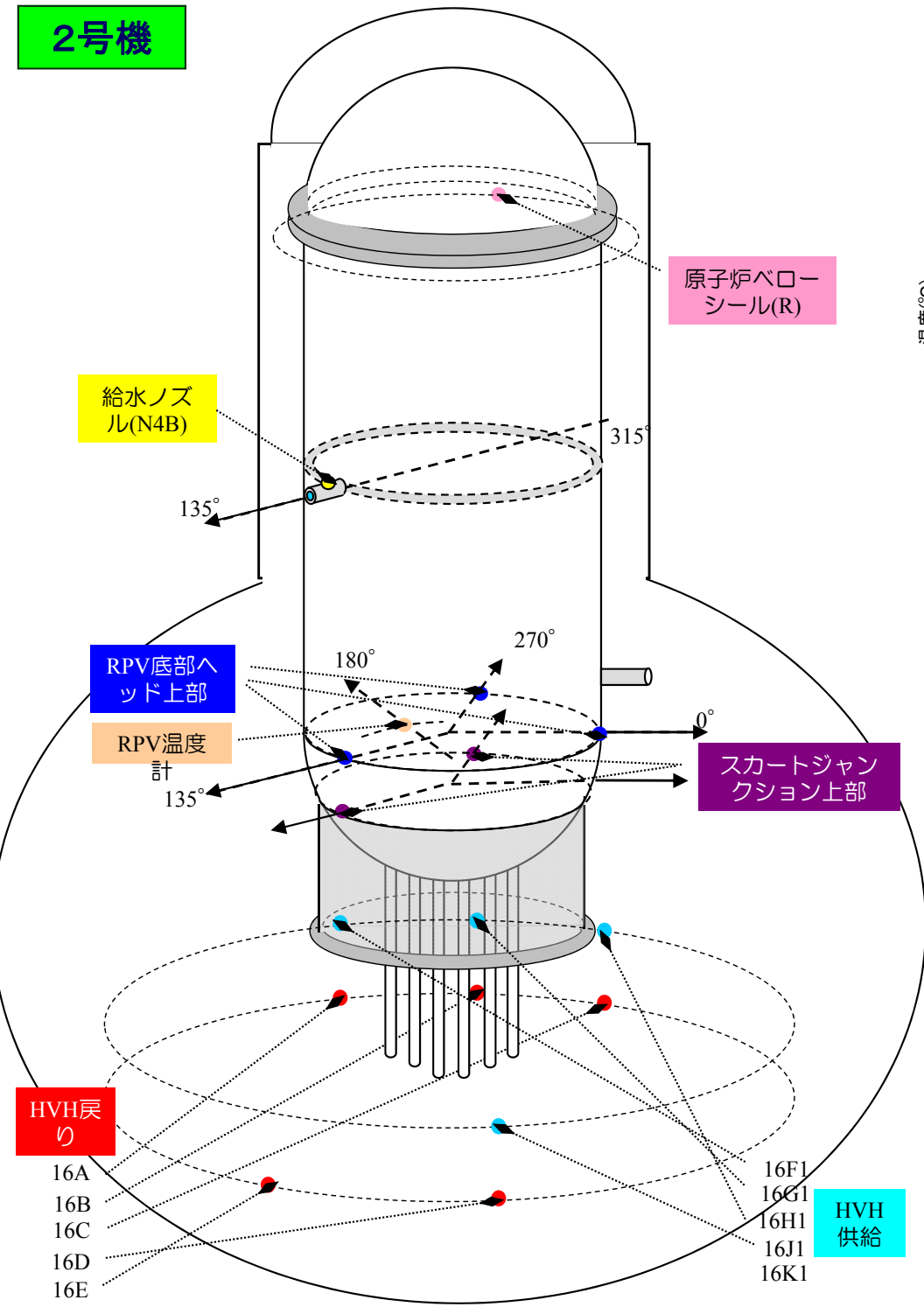
1号機 原子炉压力容器まわり温度(3/21~6/29)



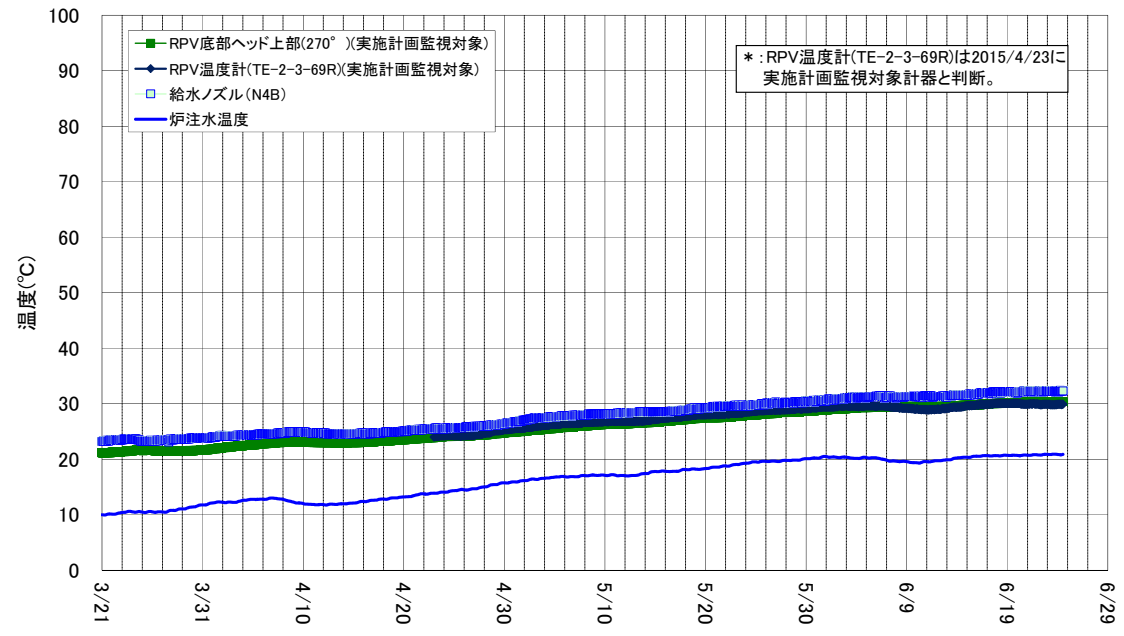
1号機 D/W雰囲気温度(3/21~6/29)



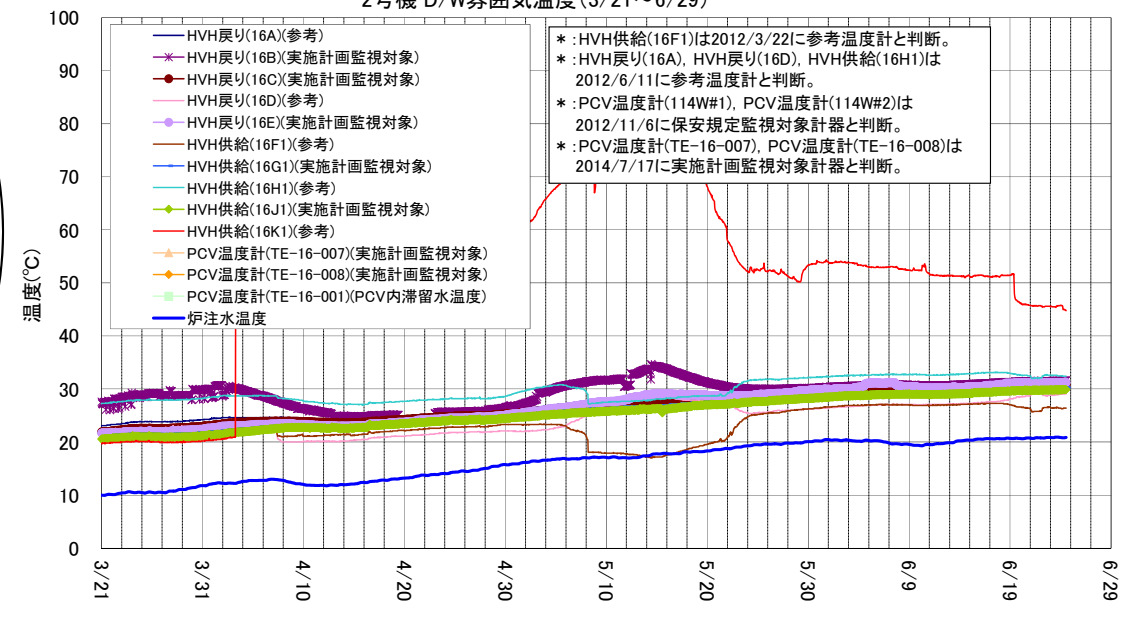
2号機



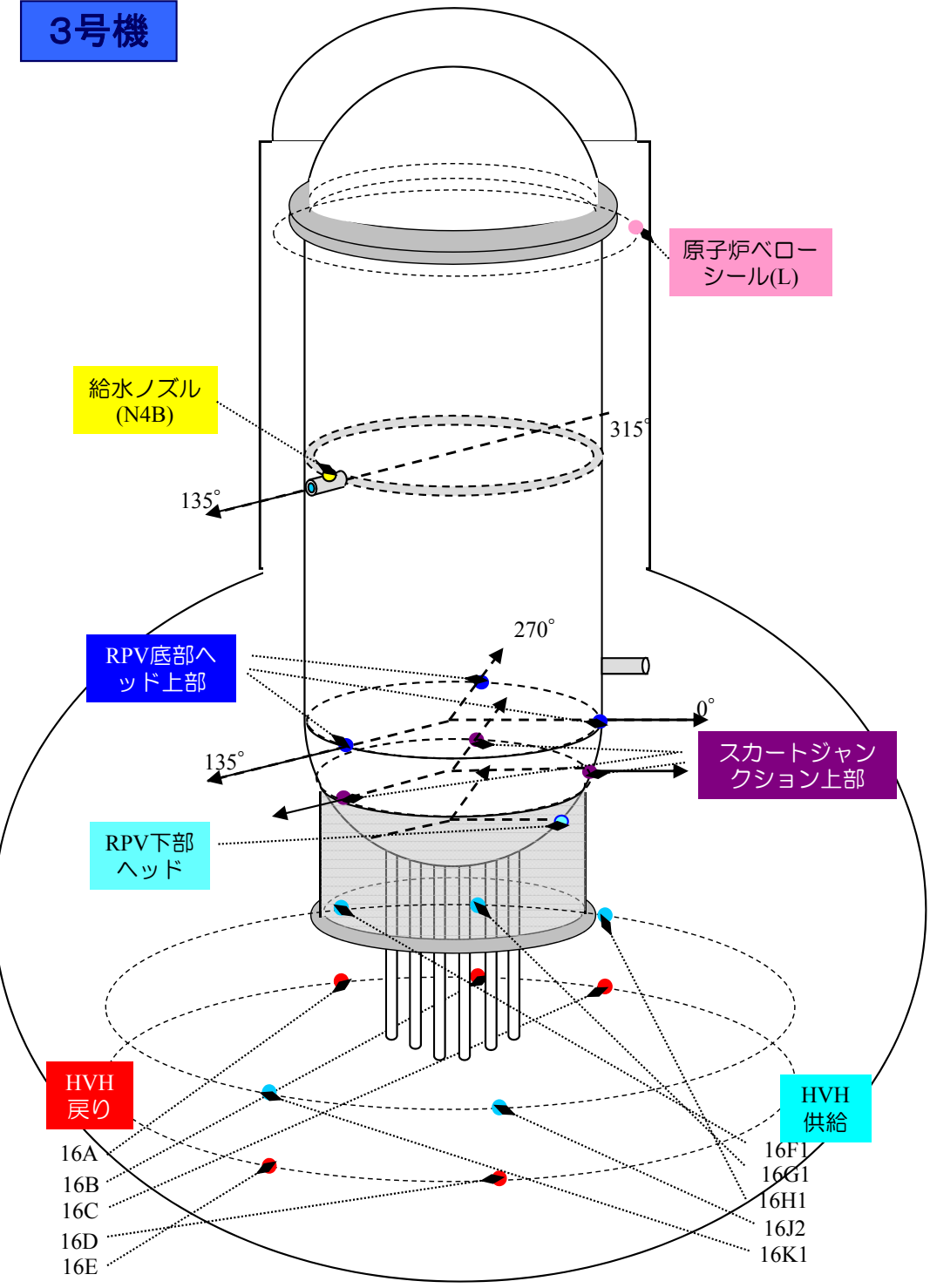
2号機 原子炉压力容器まわり温度(3/21~6/29)



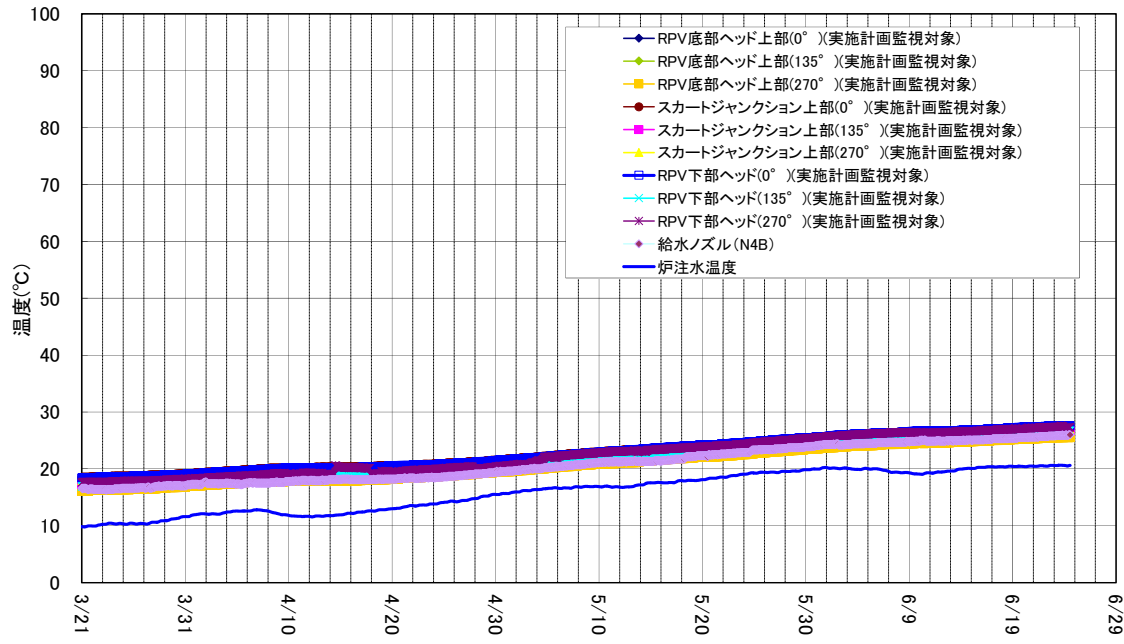
2号機 D/W雰囲気温度(3/21~6/29)



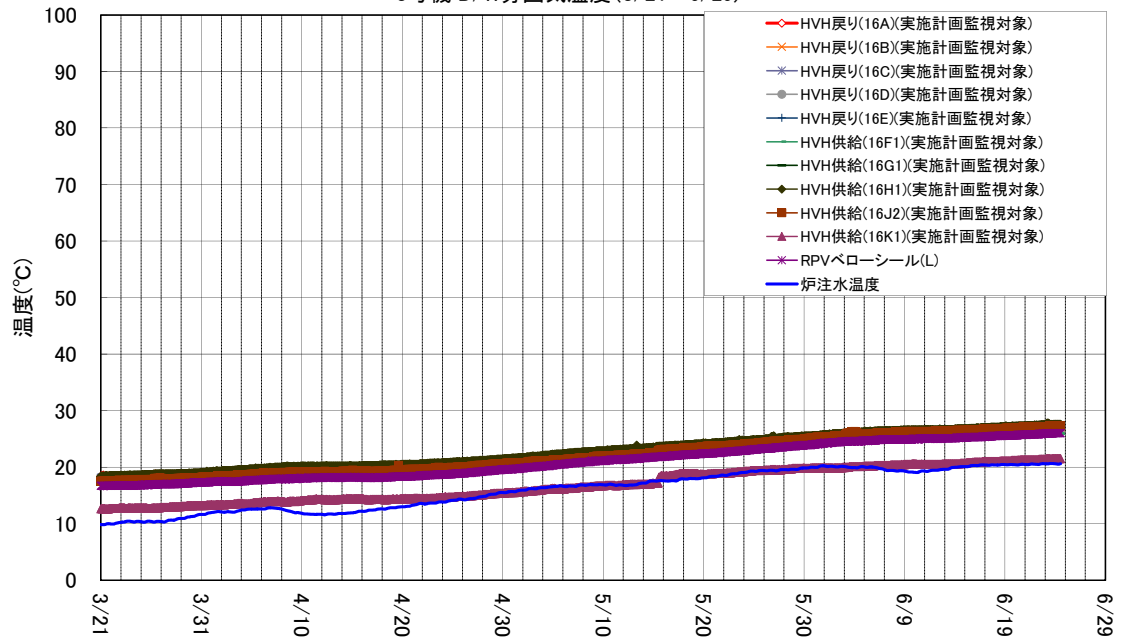
3号機



3号機 原子炉圧力容器まわり温度(3/21~6/29)



3号機 D/W雰囲気温度(3/21~6/29)



滞留水の貯蔵状況(6月18日時点)

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

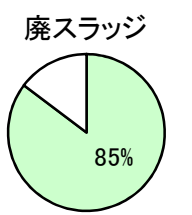
- ①建屋内滞留水水位及び貯蔵量
 - ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
 - ・処理装置(第二セシウム吸着装置)は運転中
- ②1~4号機タンク貯蔵量
 - ・淡水化装置による処理により、淡水及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり
 - ・蒸発濃縮装置は全台停止中
- ③5, 6号機滞留水貯蔵量
 - ・構内散水によりFエリアタンク貯蔵量は変動あり
- ④廃棄物発生量
 - ・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

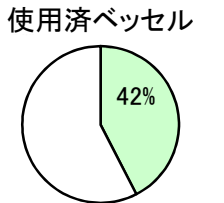
施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約13,100m ³	OP.2.589
2号機	約16,300m ³	OP.2.785
3号機	約17,900m ³	OP.2.856
4号機	約15,800m ³	OP.2.765
合計	約63,100m ³	

貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約15,290m ³	OP.4.319
高温焼却炉建屋	約5,120m ³	OP.3.428
合計	約20,410m ³	

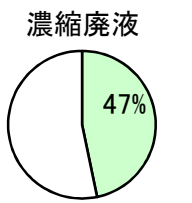
④廃棄物発生量



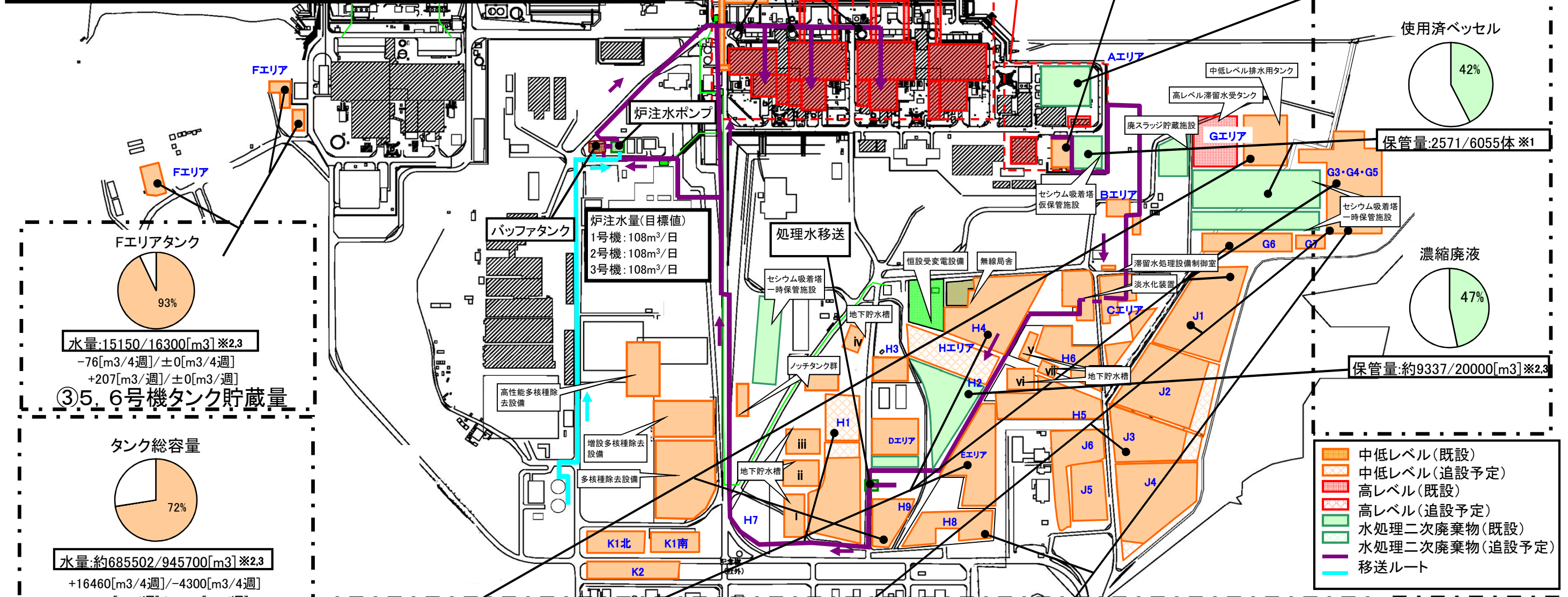
保管量:597/700[m³]*3



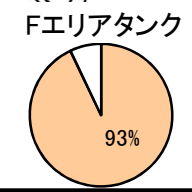
保管量:2571/6055体*1



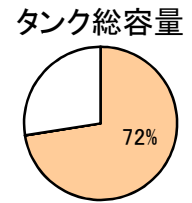
保管量:約9337/20000[m³]*2.3



③5, 6号機タンク貯蔵量

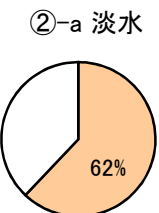


水量:15150/16300[m³]*2.3
-76[m³/4週]/±0[m³/4週]
+207[m³/週]/±0[m³/週]



水量:約685502/945700[m³]*2.3
+16460[m³/4週]/-4300[m³/4週]
+3978[m³/週]/+7100[m³/週]

タンク貯蔵量合計(②+③)



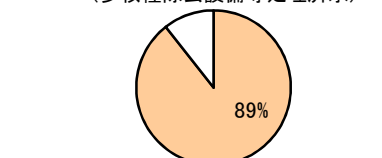
②-a 淡水
水量:約17071/27500[m³]*2.3
水位計0%以上の水量:16071[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約1000[m³]
+385[m³/4週]/±0[m³/4週]
+536[m³/週]/±0[m³/週]

②-b濃縮塩水(残水)



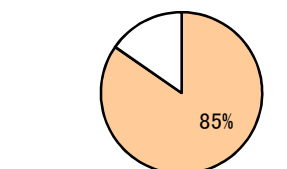
②-b 濃縮塩水(残水)
水量:約4500/164200[m³]*2.3
水位計0%以上の水量:約1200[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約3300[m³]
-14872[m³/4週]/-59200[m³/4週]
-1400[m³/週]/±0[m³/週]

②-c 処理水(多核種除去設備等処理済水)



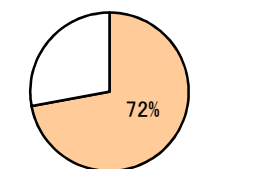
②-c 処理水(多核種除去設備等処理済水)
水量:約458526/512900[m³]*2.3,4,6
水位計0%以上の水量:457526[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約1000[m³]
+23011[m³/4週]/+37800[m³/4週]
+3605[m³/週]/+7100[m³/週]

②-d Sr処理水等



②-d Sr処理水等
水量:約190255/224800[m³]*2.3
水位計0%以上の水量:187255[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約3000[m³]
+8012[m³/4週]/+17100[m³/4週]
+1030[m³/週]/±0[m³/週]

1~4号機タンク総容量



1~4号機タンク総容量
水量:約670352/929400[m³]*2.3,4
水位計0%以上の水量:662052[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約8300[m³]
+16536[m³/4週]/-4300[m³/4週]
+3771[m³/週]/+7100[m³/週]

水量:約755179[m³]

+12933[m³/4週]*5
+3937[m³/週]

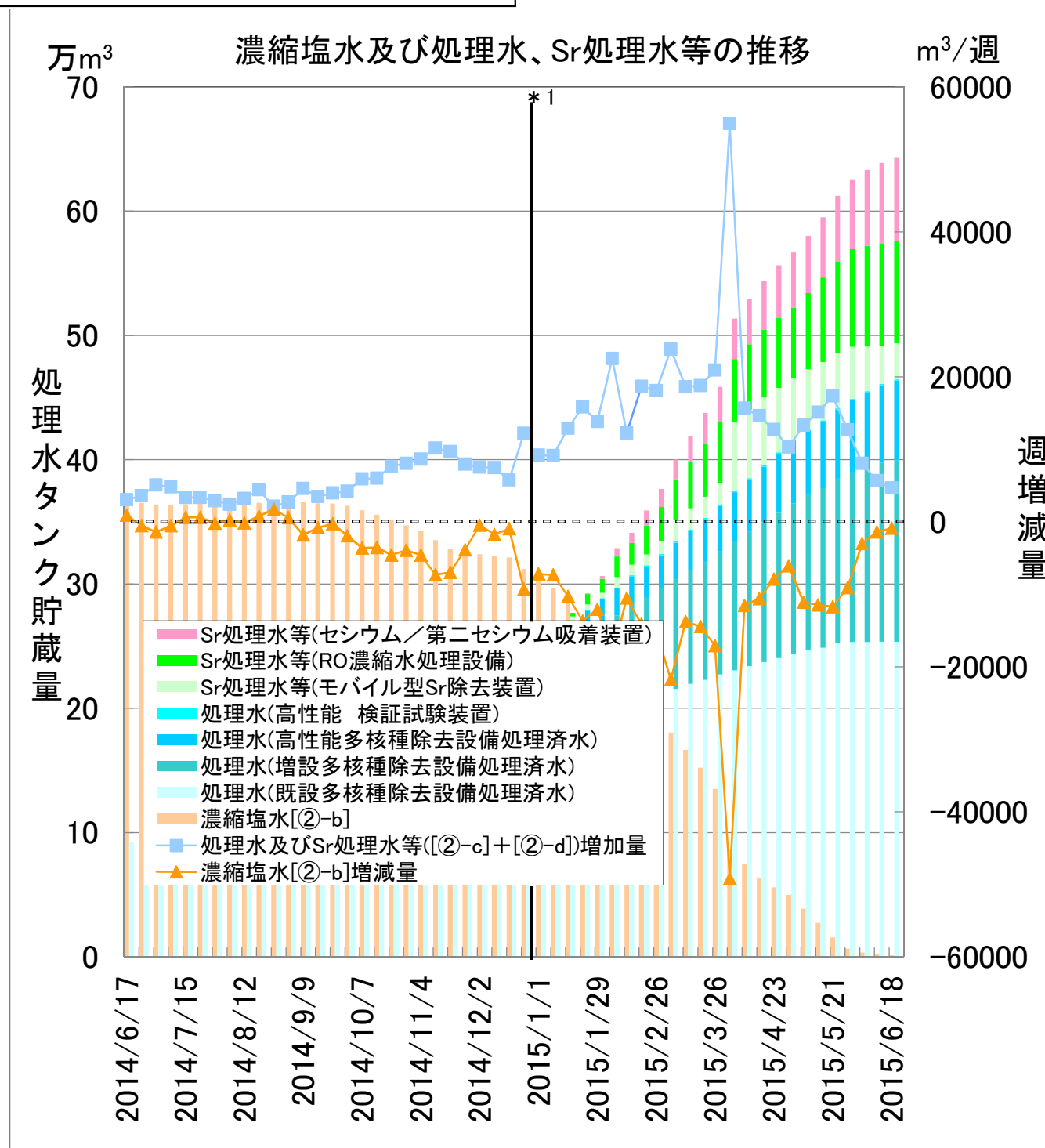
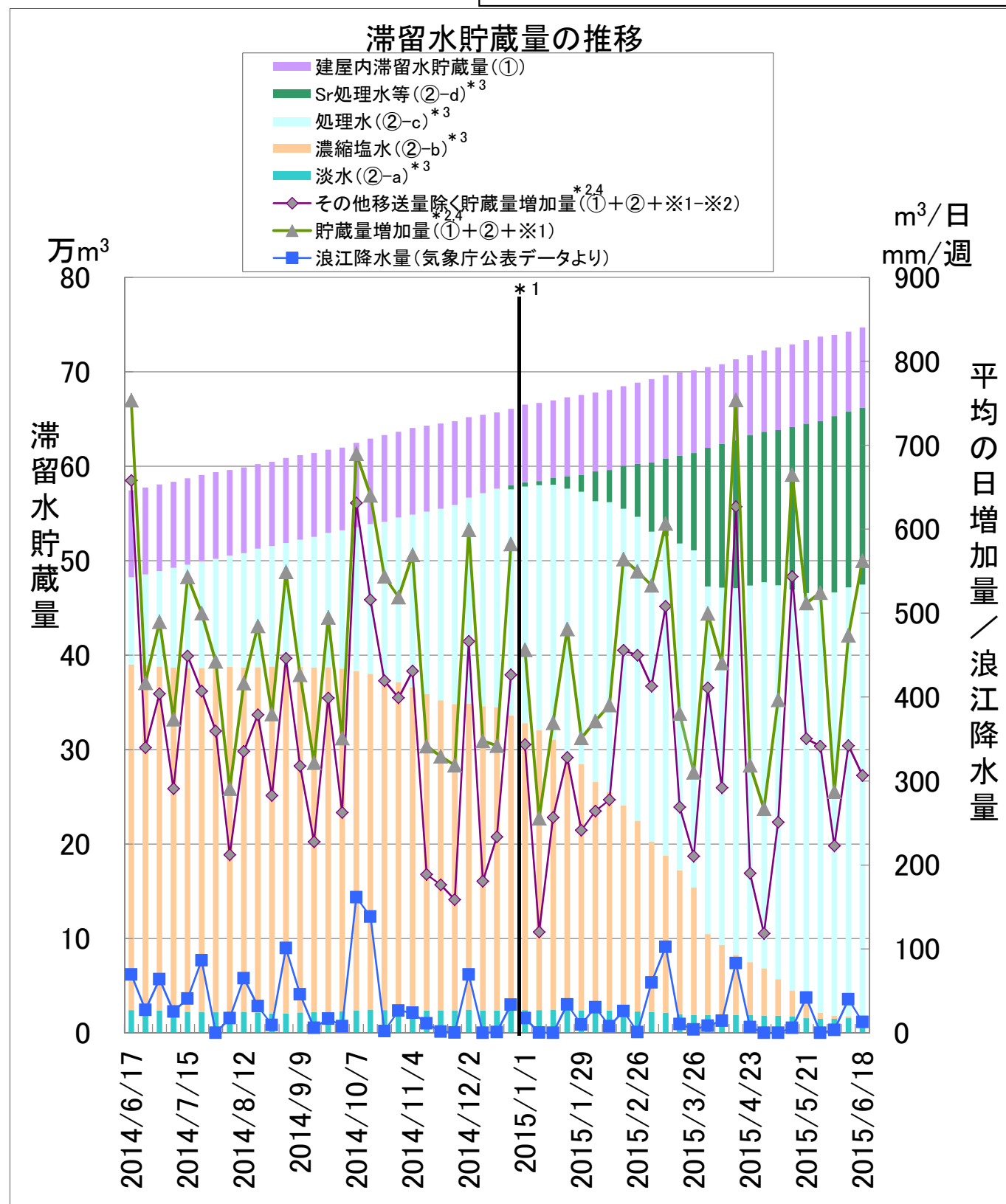
建屋内貯蔵量
+
1~4号機タンク貯蔵量
(①+②)

②1~4号機タンク貯蔵量

タンク堰内水の一時的貯留量(*6月23日時点の値を記載)
・ノッチタンク群 約1100(±0[m³])/約4900[m³]

※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む
 ※2 装置稼働中につき水位が安定しないため参考扱い
 ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記)
 ※4 多核種除去設備等(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵
 ※5 ウェルポイント(約540m³/週)、3号機廃棄物地下貯蔵設備建屋から3号機廃棄物処理建屋(約200m³/週)、1号機復水貯蔵タンクから1号機廃棄物処理建屋(約860m³/週)の移送量約1600m³/週を含む
 ※6 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む

滞留水の貯蔵状況の推移



①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))

②: 1~4号機タンク貯蔵量([②-a淡水]+[②-b濃縮塩水]+[②-c処理水]+[②-dSr処理水等])

※1: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

※2: ウェルポイント汲み上げ量、建屋間の連通がない建屋から連通がある建屋への移送量、多核種除去設備薬液注入量等の合計

処理水	累積処理水	期間処理水		定格処理量
	[m ³]	[m ³ /週]	[m ³ /日] ^{注1)}	[m ³ /日]
既設多核種除去設備 ^{注2)}	253,547	116	17	750以上
増設多核種除去設備	145,830	1,762	252	750以上
高性能多核種除去設備	64,111	1,727	247	500以上
高性能 検証試験装置	1,128	0	0	50
Sr処理水等	Sr処理水等 ^{注3)}	期間処理水		定格処理量
	[m ³]	[m ³ /週]	[m ³ /日] ^{注1)}	[m ³ /日]
RO濃縮水処理設備	82,194	-6	-1	500~900
セシウム吸着装置	67,509	2,565	366	600
第二セシウム吸着装置				1200
モバイル型Sr除去装置	Sr処理水等[m ³] ^{注3)}			
	29,092			

注1) 週間の平均値

注2) 既設多核種除去設備処理水の一部は、残水があるRO濃縮塩水タンクに移送し、Sr処理水等として貯蔵

注3) 多核種除去設備等による処理を開始、Sr処理水等の処理を実施し、多核種除去設備処理水として貯蔵

*1: 2015/1/1より集計日を変更(火曜日→木曜日)

*2: 2015/4/23より集計方法を変更(貯蔵量増加量(①+②)→(①+②+※1)、その他移送量除く貯蔵量増加量(①+②-※2)→(①+②+※1-※2))

*3: 水位計0%以上の水量

*4: 過去のデータにつき内容を精査し修正を実施。

各エリア別タンク一覧

(2015年6月18日 現在)

1～4号機用汚染水貯蔵タンク

※下線部は前回報告からの変更点

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) (m ³)	タンク型	貯蔵水	備考
B南	5	450	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
B北	15	300	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
C	26	40	鋼製角型タンク(溶接)	濃縮塩水	残水処理中
	52	40	鋼製角型タンク(溶接)	淡水	
C東	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
C西	8	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
D	7	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	残水処理中
E	18	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(C)	
	31	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
G1	72	100	鋼製横置きタンク(溶接)※土中埋設	淡水	
G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G3西	40	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C、R)	+1基RO濃縮塩水用からSr処理水等用に転用
	0	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	RO濃縮塩水用からSr処理水等用に転用により1基減
G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	6基RO濃縮塩水用からSr処理水等用に転用
G4南	17	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	+3基RO濃縮塩水用からSr処理水等用に転用 17基の内、2基は使用時期未定
	0	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	RO濃縮塩水用からSr処理水等用に転用により3基減
G4北	6	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G5	17	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G6北	19	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	漏えいが確認されたため、1基使用停止 20-1=19
G6南	18	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
H1	55	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・高性能・増設)	
H1東	0	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	12基アウトオブサービス
H2北	0	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	17基アウトオブサービス
H2南	0	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	11基アウトオブサービス
H3	10	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	高線量箇所が確認された 1基使用停止 11-1=10 残水処理中
H4	20	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H4東	12	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H4北	21	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	漏えいが確認されたこと等から、2基撤去済み 23-2=21 残水処理中
H5	8	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
	23	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H6	24	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H8北	5	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C、R)	
H8南	11	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
H9	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
H9西	7	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
J1	64	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (高性能検証試験装置)	
	34	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(A, C)	+8基RO濃縮塩水用からSr処理水等用に転用
	0	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	RO濃縮塩水用からSr処理水等用に転用により8基減
J2	37	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J3	17	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・増設・高性能)	
J4	29	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・増設・高性能)	
J5	35	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J6	38	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
K1北	12	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
K1南	10	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
K2	28	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
多核種除去 設備	4	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
高性能多核 種除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
増設多核種 除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	

合計 937 Sr処理水等内訳 C: センウム吸着装置等、M: モバイル型ストロンチウム除去装置等
R: RO濃縮水処理設備、A: 多核種除去設備等

濃縮廃液

D	10	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮廃液	
H2	100	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	

高濃度滞留水受けタンク

G1	28	100	鋼製横置きタンク(溶接)※土中埋設	高濃度滞留水	非常用の受けタンクであり、現在未使用
----	----	-----	-------------------	--------	--------------------

5, 6号機用汚染水貯蔵タンク

	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
F2	6	35	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
	6	42	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
	4	110	鋼製角型タンク(溶接+フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Bタンク
	5	160	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
	2	200	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
F1	3	299	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	hijタンク
	18	508	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	hijタンク
	5	1100	鋼製円筒型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Kタンク

合計 49

(参考)

地下水バイパス用タンク

H3	9	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	地下水	
----	---	------	------------------	-----	--